

区長との懇談会開催

平成 28 年 11 月 1 日（火）に、区役所内で区長との懇談会が開催されました。



区役所側からは、区長をはじめ、副区長、総務課長、区政推進課長、地域振興課長、資源循環局神奈川事務所長等のご参加をいただき、区民協議会からは、代表委員、各部会正副部会長が参加しました。

懇談会に先立ち、各部会から質問事項を提出し、それらについて区長からご回答をいただきました。

「後継者と情報を考える会」は、町会のホームページ作成推進策と区役所ホームページへの若年層のアクセス数増加策を質問しました。町会でのホームページについてはメリット、デメリット双方があり課題も多いとのことでしたが町会からの要望が高まれば支援策について検討していく必要があるとのことでした。区役所のホームページに関しては、行政機関として生活に必要な手続きを伝えることが第一目標にはなるが、若い人が好むコンテンツについては今後ご意見をいただければ考えていきたいとのことでした。「M・Mの会」は、家庭ごみ分別の簡素化についてと環境事業推進委員等に指導や開封等の権限を与えられないかとの質問をしました。横浜市の焼却工場では 24 時間ごみを燃焼させることによりプラスチック製容器包装を燃料として使用していません。また、指導や開封等の権限は法令上の定めが必要であり、現状では無理とのことでした。「なまずの会」は、地域防災拠点によって温度差があるがどのように現状打破をしていくのか、また神奈川区で様々な対策が講じられているが今現在の災害対策における最優先課題は何かという質問をしました。地域防災拠点については、それぞれ最低限の訓練はしているので継続していくこととお互いの情報交換を大切にしていきたい、参与や参与補助の底上げをして力になりたいとのことでした。最優先課題については、共助が一番大事であるとの観点から町の防災組織活動補助金で安否確認等を充実することだとお考えとのことでした。

各ご回答に関して活発な意見交換がなされ、今後の部会活動の充実に繋がる良い機会となりました。

区民協議会は、今後も行政と区民とを繋ぐパイプ役となれるような活動をしていきます。

